



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月 23日

（宛先）高崎市長 殿

提出者 〒105-0001
住 所 東京都港区虎ノ門三丁目18番19号
氏 名 東邦亜鉛株式会社 代表取締役 伊藤 正人
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-4334-7313

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(有)岡田興業 原石山
事業場の所在地	群馬県高崎市箕郷町松之沢613の一部 他2筆
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

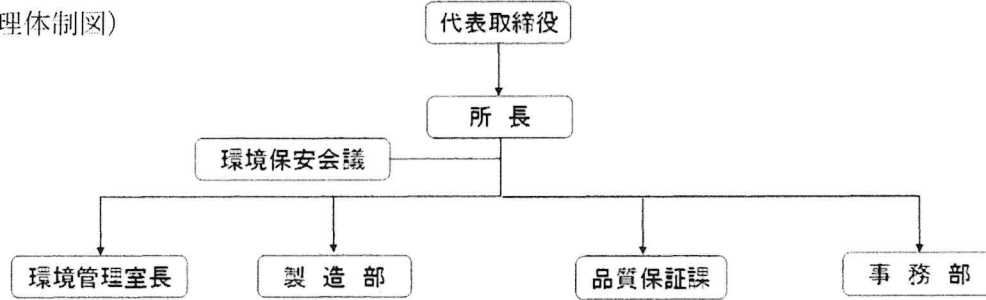
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：非鉄金属製造業
②事業の規模	126,300百万円
③従業員数	451名(192名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：混錬（混錬造粒）→埋立 汚泥：脱水・混錬・不溶化→焼却



（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物管理責任者：環境管理室長
 特別管理産業廃棄物管理責任者：環境管理室長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	1,575 t	t
	（これまでに実施した取組） 積込時に土砂が混入しないよう検討した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	1,800 t	t
	（今後実施する予定の取組） 積込時に土砂が混入しないよう更に検討する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <分別種類>汚泥 <取組>積込時に土砂が混入しないよう検討した。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <分別種類>汚泥 <取組>積込時に土砂が混入しないよう更に検討する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特に予定していない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特に予定していない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特に予定していない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1,575 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,575 t	t
	再生利用業者への処理委託量	759 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・処理委託先の現地確認		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	1,800 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,800 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	900 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 処理委託先の現地確認		
※事務処理欄			